

## 2. 罹患の状況 Cancer Incidence in 2013

### ■ 最新集計について

集計の期間

罹患年月日が平成25(2013)年1月1日から12月31日の間の1年間。過去の罹患年についても再集計。

集計の時期

平成28(2016)年9月30日現在

罹患年月日の決め方

- ① 届出による登録例は、初めて当該がんと診断された年月日を罹患年月日とする。
- ② 届出がなく、死亡小票の写しによってがん罹患が判明した例は、死亡年月日をもって罹患年月日とする。

集計対象

- ① ICD-O-3分類の性状2(上皮内)、3(悪性、浸潤性)で示される新生物。
- ② DCN例については、①に加えて、ICD-O-3分類の性状1(良性・悪性の別不詳:例 悪性の明示のない〇〇腫瘍)で示される新生物による死亡で、部位が頭蓋内の良性、良性・悪性別不詳の新生物。

精度指標

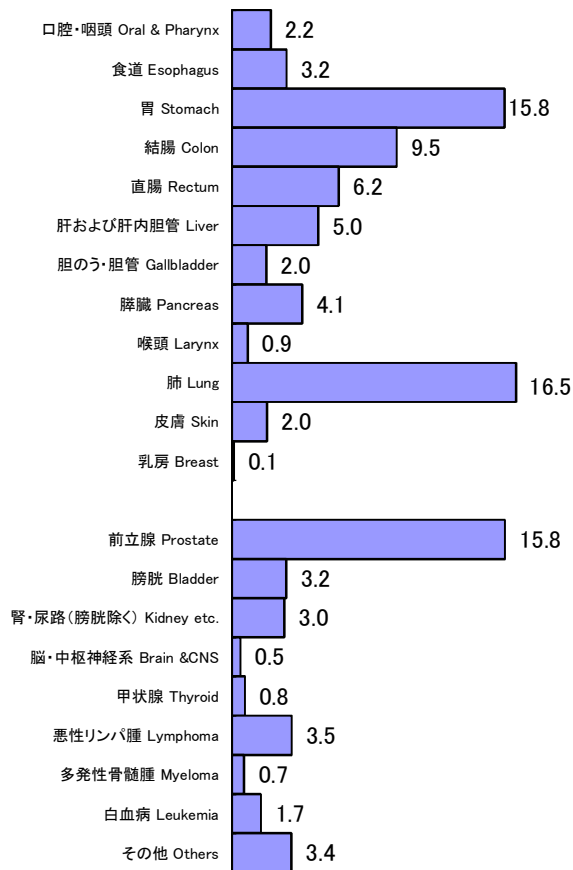
DCN:10.1%    DCO:5.1%    I/M:2.35

### ■ 罹患の概要

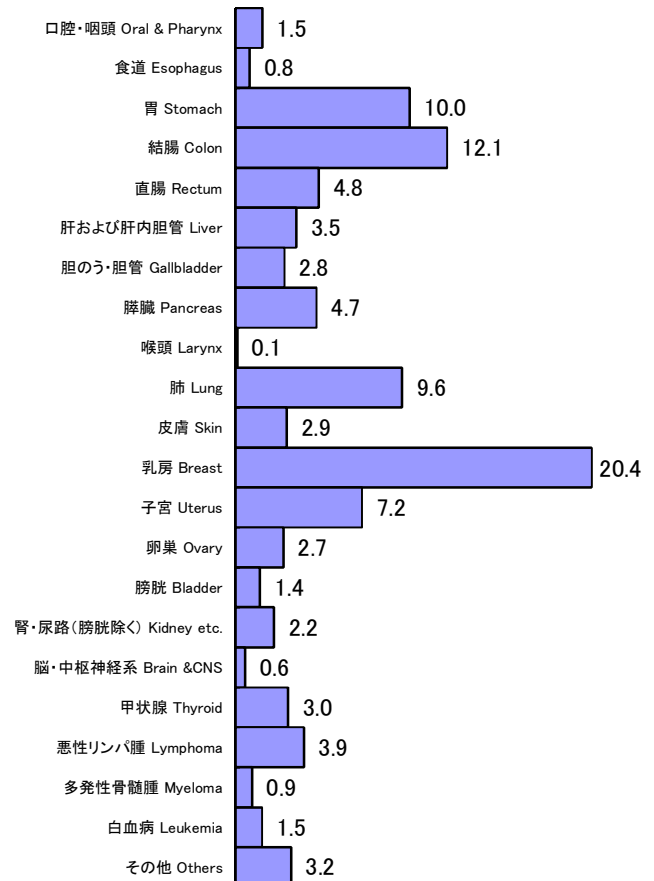
2013年に愛知県において、男性延べ25,518件、女性延べ17,926件の、合計43,444件のがんが、新たに診断された。男性で最も多いがんは肺がんであり、前立腺、胃、結腸、直腸、肝および肝内胆管と続く。女性で最も多いがんは乳がんであり、結腸、胃、肺、子宮と続く(図1)。

図1 部位内訳(%) (表1-Aから作成) Figure 1 Percentage of Incident Cases of Cancer by site

男性 males 全年齢 all ages 25,518 件



女性 females 全年齢 all ages 17,926 件



## 年齢別にみたがんの罹患 Age-Specific Cancer Incidence

2013年に新たに診断されたがんは、年齢別にみると約71%が65歳以上だった。一方、男女とも働き盛りの40-64歳の年齢層も全体の約26%を占めている(図2)。

女性の15-64歳において、特に乳がんの罹患割合が高い。また、女性の15-39歳のがんが男性よりも多いのは、この年齢層の乳がんと子宮がんが多いためである(図3)。

主ながんの年齢階層別罹患率をみると、胃がんは男性55歳以上、女性70歳以上、結腸がんは男性60歳以上、女性65歳以上で、それぞれ千人に1人以上が罹患している。乳がんは、30-49歳の間に急激に増加した後、やや減少するも横ばい傾向を示している。また、子宮がんは20-30歳代の若い世代において、特に上皮内がんの罹患が目立っている(図4)。

図2 年齢別内訳(%) (表2-Aから作成)

Figure 2 The Number and Percentage of Incident Cases of Cancer by age-group

年齢階層 Age group	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
男性 Males	65	394	5,787	9,215	10,057	25,518
女性 Females	56	729	5,634	4,426	7,081	17,926

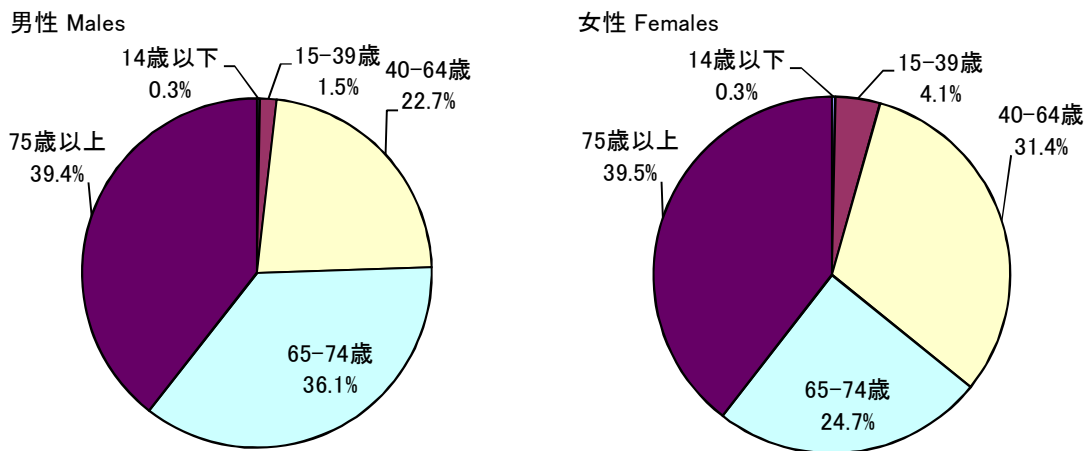
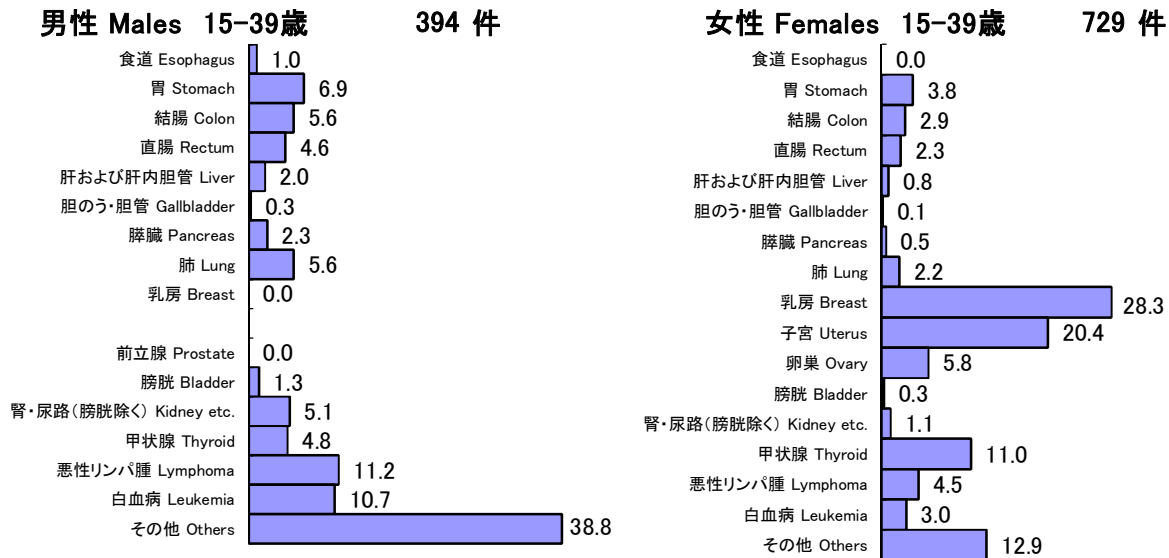
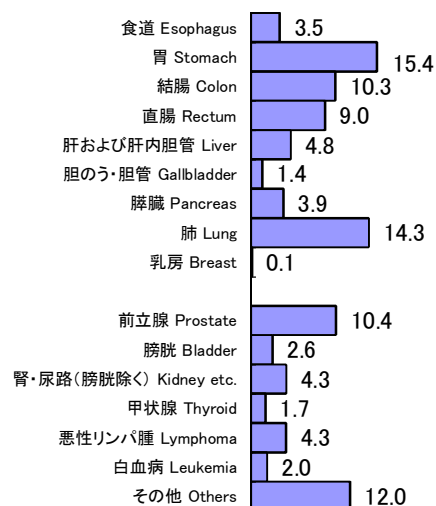


図3 年齢別部位内訳(%) (表2-Aから作成)

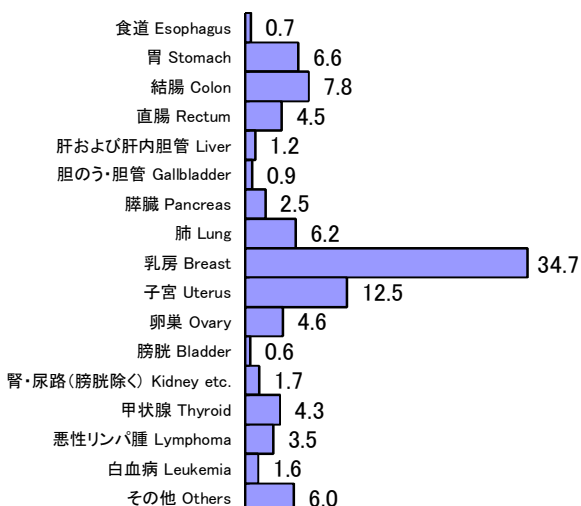
Figure 3 Percentage of Gender- and Age- Specific incidence by Cancer site



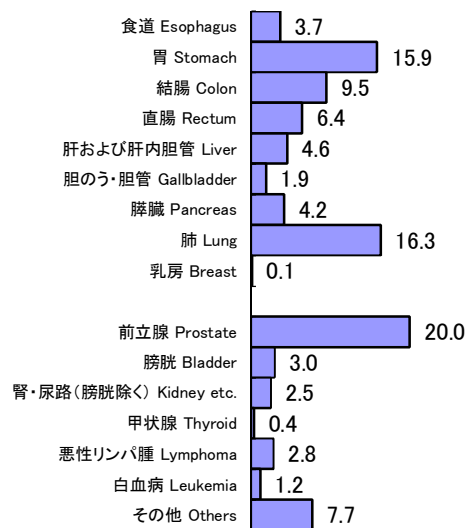
男性 Males 40-64歳 5,787件



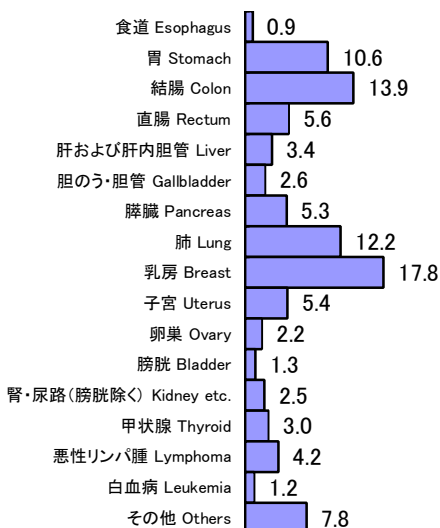
女性 Females 40-64歳 5,634件



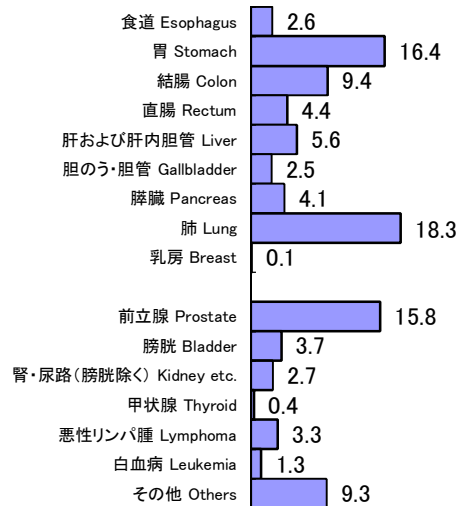
男性 Males 65-74歳 9,215件



女性 Females 65-74歳 4,426件



男性 Males 75歳以上 10,057件



女性 Females 75歳以上 7,081件

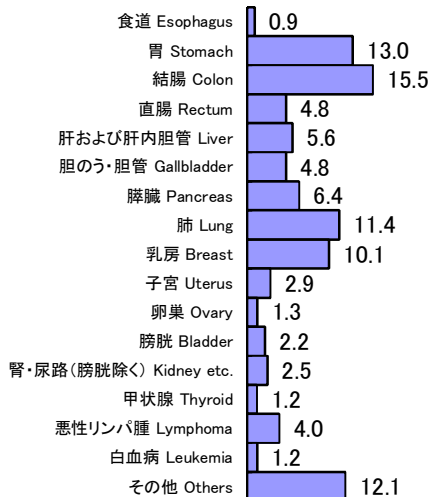
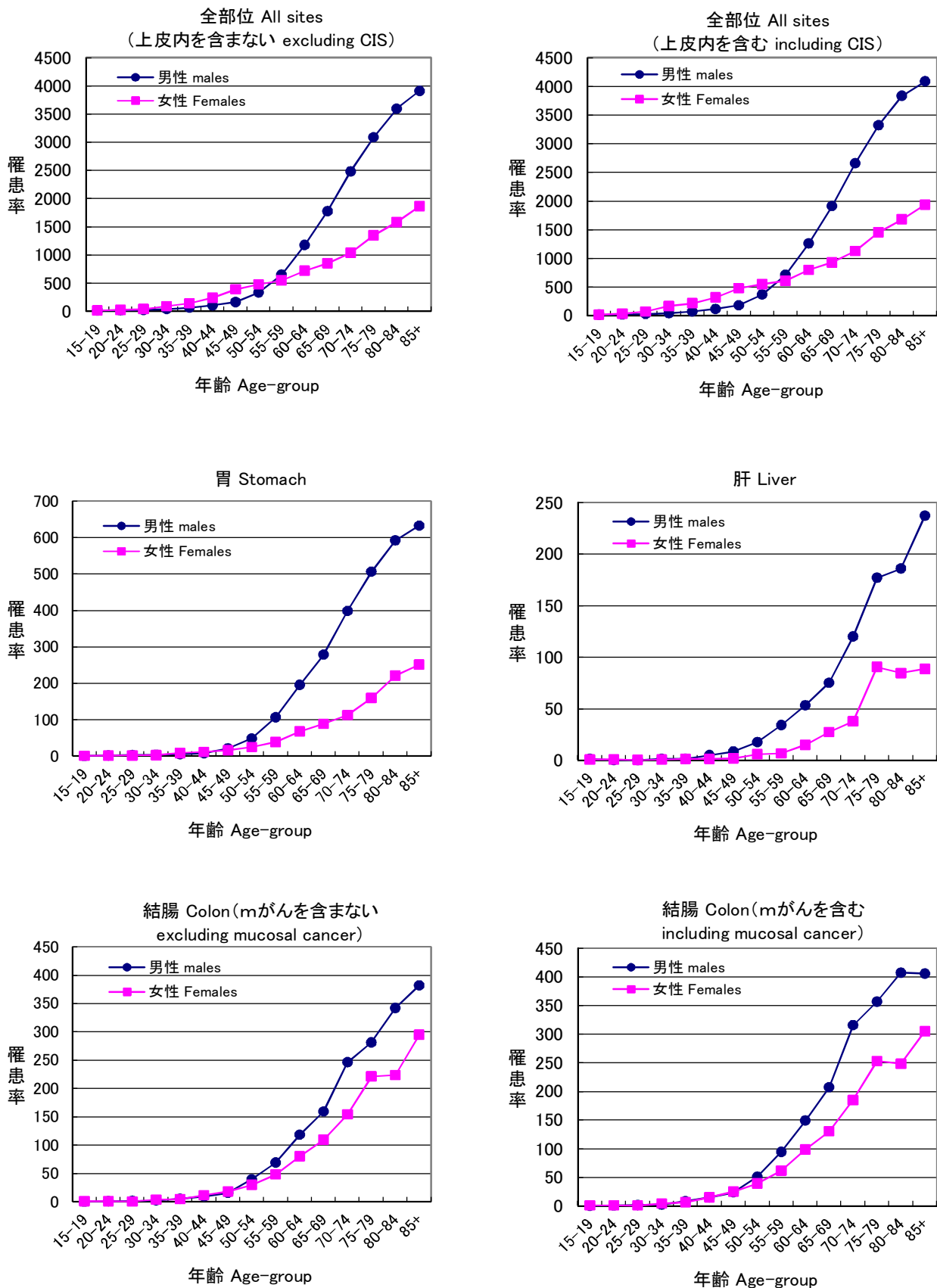


図4 部位別年齢階級別罹患率:人口10万対 (表3-A、Bから作成)  
 Figure 4 Age-Specific Incidence Rates by Cancer site



注)mがんについて:我が国の地域がん登録では、大腸(結腸及び直腸)の粘膜内がん(mがん)は上皮内がんとして扱う。

